

慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所
安全安心サイエンス
第22回「感染症・バイオテロ研究会」

地域の感染症危機管理を問い直す

～ “数”の管理から“面”の管理へ ～

概要 感染症サーベイランスの目的は、本来危機の拡大を抑制するための予防行動強化を起こすきっかけを得ることにある。

本講演では、「感染症患者を数える」のではなく、患者発生空間的集積性を検出する手法を試みた事例を紹介する。感染症が新たな脅威となる今、本法による感染症拡大早期把握の有用性と、これを利用した地域における感染症危機管理のあり方を議論をしたい。

講師 郡山 一明 氏

北九州市危機管理参与、救急救命財団九州研修所教授

日時 : 2010年9月22日(水) 18:30～20:00 (受付 18:00～)

場所 : 慶應義塾大学 三田キャンパス 東館6F G-SEC Lab

<http://biosecurity.gsec.keio.ac.jp/index.php?page=/access/index/ja>

コーディネーター : 慶應義塾大学 グローバルセキュリティ研究所 研究員・医学部 助教 齋藤 智也

研究統括 : 慶應義塾大学 グローバルセキュリティ研究所 副所長/上席研究員・医学部 教授 竹内 勤

参加申込先 : <https://www.biosecurity.gsec.keio.ac.jp/event/r?e=23>

申込締切日 : 2010年9月21日(火) 17:00 〆切

慶應義塾大学 グローバルセキュリティ研究所
グローバル・ヘルス・セキュリティプロジェクト事務局

〒108-8345 港区三田2-15-45
慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 5F
電話: 03-5427-1372 FAX: 03-5427-1871

主催

文部科学省私立大学戦略的研究拠点支援事業
「わが国のバイオセキュリティ・バイオディフェンス準備・対応策策定についての医学・人文社会科学融合研究」

